

# 防衛相に森本氏

今回の改造人事の目玉は、初めての防衛相への民間人の起用だった。森本敏・拓殖大大学院教授は外交や安全保障の専門家で日米同盟を重視する論客。政府関係者は「国会審議での野党の追及を逃れ、対米重視もアピールできて一石二鳥だ」と想定していたが、防衛の責任者に国会議員以外が就くことを疑問視する声も上がっている。

## 自民など 責任とれるか 官房長官 首相に指揮権

自民党的石破茂元防衛相は「どんなに優秀であっても政治家ではない以上、政治的な責任はほどない。今までの日本の文民統制からは大きく外れる」と指摘。公明党的山口那津男代表は記者団に「職責に照らして強い違和感を覚える」と強調した。

一方、藤村修官房長官は4日夜の記者会見で、民間人の起用に批判が出ていることについて「防衛厅の前身の『保安庁』で民間から起用された例がある」と指摘。「自衛隊の最高指揮監督権は首相にある。自衛隊に関する法律、予算是国会の審議を経て成立する」として、問題はない強調した。

民主党的一川保夫元防衛相も「あれでいいのか。政治家が有権者の声を受けて国防政策に責任を持つべきだ。野党からは

森本氏は任命後、記者団に「国会議員ではない」と語った。

森本敏氏の防衛相起用は、野田佳彦首相がこだわりを見せて主導した人材だった。

首相は事前に民主党内で安全保障政策に詳しき、森本氏にも近い長島昭久首相補佐官らと相談しながら構想を練った。

あるベテラン議員は「とても器ではない」と新の意味も強く含まれてるのでぜひ引き受け下さい」。改造前日の3日、首相は自ら電話で本

人を粘り強く説得した。

森本氏は著書で米軍普天間基地移設問題を巡る民主党政権の迷走について、「日米同盟の信頼性は著しく傷ついた」と批判したこともある。防衛省幹部は「野党は国会で手ぐすね引いて待っている状態だ。答弁でうまく修正すればいいが」と身構えている。

民間人とはいえ森本氏は自公政権時代に防衛補佐官を務めた。自民党的一定のパイプはあるが、民主党政権との距離感に疑問を呈する向きもある。民間からの「即戦力」の起用は早くも波乱の芽をうかがわせる。



記者会見する森本敏防衛相(4日、首相官邸)

## 「人心一新」前日に説得

「とても器ではない」と政府関係者によると、防衛相の人選は当初は難航。渡辺周防副大臣らの起用案が浮かんだものでまるよう間接的に伝えたが、首相の意志はすでに固まっていた。

政府関係者によると、防衛相の起用は当初は難

早速、起用を疑問視する発言が相次いだ。

「たっか」と語った。

一方の藤村修官房長官は4日夜の記者会見で、民間人の起用に批判が出ていることについて「防衛

衛厅の前身の『保安庁』で民間から起用された例がある」と指摘。

「自衛隊の最高指揮監督権は首相にある。自衛隊に関する法律、予算是国会の審議を経て成立する」として、問題はない強調した。

森本氏は著書で米軍普天間基地移設問題を巡る民主党政権の迷走について、「日米同盟の信頼性は著しく傷ついた」と批判したこともある。防衛省幹部は「野党は国会で手ぐすね引いて待っている状態だ。答弁でうまく修正すればいいが」と身構えている。

民間人とはいえ森本氏は自公政権時代に防衛補佐官を務めた。自民党的一定のパイプはあるが、民主党政権との距離感に疑問を呈する向きもある。民間からの「即戦力」の起用は早くも波乱の芽をうかがわせる。

に固まっていた。